タイのタルタオ国立公園の浜辺に打ち上げられた海洋ごみ。
(iStock.com/Utopia_88)

何気なく捨てられたごみで世界中の海の汚染がすすんでいる

水筒やエコバッグをもち歩こう

海岸に押しよせ、海をよごし、魚を苦しめるプラスチック。その原因は、手軽だから買ってしまうペットボトル、楽だからもらってしまうレジ袋やストローなどです。買い物のときは店員にすすめられても「いりません」と断り、水筒やエコバッグを長くたいせつに使いましょう。そして「いりません」運動を家族や友だちの間でも広めていきましょう。日本では野菜や果物なども、プラスチック素材でていねいに包装されています。ばら売りの野菜や果物を買うことも、とても効果的です。

地球上の30億人以上が海で生計をたてているのに、プラスチックごみや海洋の酸性化など海洋環境が悪化しています。

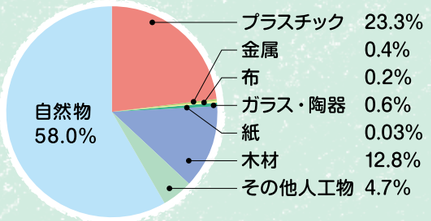
海をめぐる自然や、そこから得られる水産資源は、経済・社会の面で世界中の人びとにめぐみを与えています。けれども、何十年も行われてきた開拓などの影響で、おどろくほどの早さで海の環境はおとろえ、また多くの人工的なごみが海に流出するなど、さまざまな問題が発生しています。

海は地球で最大の二酸化炭素吸収源で、気候変動をやわらげる役割もしていますが、産業や生活スタイルの変化によって、化石燃料を大量に燃やす過程で、より多くの二酸化炭素が空気中に排出されるようになりました。二酸化炭素を大量に吸収すると海は酸性化するので、サンゴ礁などにダメージを与え、食物連鎖をみだし、その結果、水産業や海洋の生態系、現地の観光業などに悪影響を生じさせています。海の酸性度は2100年までに100～150%高まって、海洋生物の半数に影響が出る見こみです。プラスチック製品がきちんと処分されずに海を漂流したり、海岸に漂着したりするものを、「海洋プラスチックごみ」とよびますが、2050年にはその総重量が、海にいる魚の総重量を上回るとも予想されています。

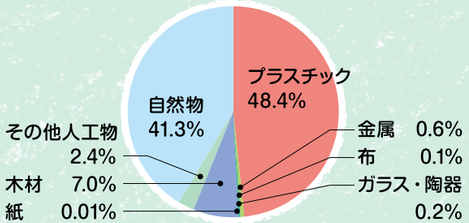
海岸に漂着した、ごみのほぼ半分がプラスチックごみ

日本での漂着ごみ調査結果

重さ別



容積別



日本の海10か所に漂着したごみについて見てみましょう。重さでは自然物が多いですが、容積ではプラスチックが最多です。海に漂うごみはかんたんには消えてなくなりません。分解されて細かくなるまで、アルミ缶で200年、ペットボトルで400年かかるといわれ、また細かくなった「マイクロプラスチック」は、さらに数百年、自然界にのこると考えられています。海に漂うマイクロプラスチックが海洋生物の体内からも見つかり、海洋環境への影響が心配されています。

※稚内、根室、函館、遊佐、串本、国東、対馬、五島、種子島、奄美の各地点の海岸線50mの中に存在したごみの量や種類等を調査したもので、全国の状況を表すものではない。

出典：環境省「海洋ごみをめぐる最近の動向」（2018年）より。

わたしにできるその他のアクション！

- 「いりません」運動を実践しよう
- ばら売りの野菜や果物を買おう

世界には水道設備がなく安全な水を飲めない子どもがいる

水をたいせつに使おう

水道から飲むことのできるきれいな水が出てきて、トイレが清潔で安全に使える状態というのは、世界の中でも限られた話です。そうしたことに、わたしたちは災害に直面してはじめて気づきがちです。水はたいせつに使いましょう。歯みがきやシャンプーのすすぎまでは水を止めてみたり、すぐに自然分解される環境にやさしい成分の洗剤を使ってみたりしましょう。

雨がふったあとにできた水たまりの水を容器でくむ、遊牧民の女の子や女性たち。唯一の水源だが、動物たちの排泄物や細菌で汚染されている。ソマリア、2006年。
（©UNICEF/UNI43802/Kamber）

20億人が安全な水を利用できておらず、36億人が安全なトイレを使えていません。人口の約9%の人が、水不足が原因で住む場所を追われるという予測も。

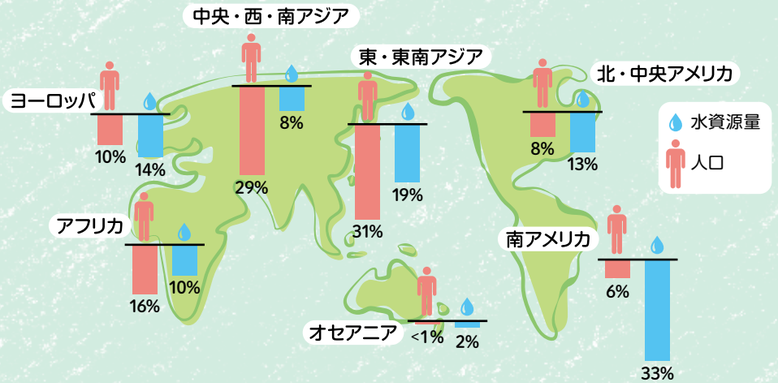
水は、健康で衛生的な生活をおくるうえで欠かせない重要な資源で、食料の生産をはじめ、経済活動のほとんどの分野で必要とされる存在です。現在、20億人が安全で管理された飲料水を使えず、浄水設備や井戸の設備がない地域では、池や川、湖などでくんだ水を飲料や食事のために使っているのが現状です。また、衛生的なトイレを使えていない人も36億人いて、そのうちの約5億人が野外で排便をしています。

2020年から多くの被害を世界中にもたらした新型コロナウイルス感染症の効果的な予防法の1つに、水と石けんを使った手洗いがあります。けれども、世界の中の40%の家庭に手洗いの設備がありません。

日本は比較的に水関連の設備は整備されていて、水道普及率は98%をこえています。ただ、日本の1人あたりの年間降水量は世界の平均の4分の1と少ないうえ、地形的にふった雨の多くが海へながれてしまうので、水資源をより一層安定的に管理することが求められています。

水資源の豊富な地域と人口に対して足りない地域の差が大きい

世界の地域別 水資源と人口の比較



南アメリカのように人口に対して水資源が豊富なところもあれば、アジアやアフリカのように水資源が少ない地域もあります。日本も、雨が梅雨・台風・降雪期に集中するなど気象に大きく左右されるほか、山の多い地形で河川が多いため、ふった雨の多くが短時間で海へ流出してしまうといった問題があります。そうした地域による水資源環境のちがいがあるうえに、水源や水路などには国や地域の境界の問題もからむので、解決がむずかしい資源だともいえます。

出典：国土交通省水資源部ホームページより。FAO（国連食糧農業機関）「AQUASTAT」の2020年10月時点の公表データをもとに作成。

わたしにできるその他のアクション！

- 水やお湯の出しっぱなしはやめよう
- 環境にやさしい石けんや洗剤を使おう